

企業の農業参入研修会

【講演】 地域と連携し農業参入した企業の事例

【研修】 農業法人設立の留意点

参加者
募集！

豊かな自然環境のもと営まれている三重の農業は、県民の食を支える大切な産業のひとつです。しかしながら、小規模・兼業農家の離農などにより、担い手不足が問題となっています。

一方で、近年は農業以外の業種の企業が、経営の多角化や、労働力の有効活用、自社製品の原料生産等、様々な動機で農業参入しており、農業の重要な担い手となっております。

そこで、(公財)三重県農林水産支援センターおよび三重県では、農業への参入を検討されている企業等を対象に、農業参入の参考として頂くための研修会を開催します。

日時 令和3年2月9日(火)
13時30分～16時00分

会場 松阪市嬉野川北町530
三重県農林水産支援センター
2階 会議室

内容

(1) 講演

企業が有する強みを生かすとともに、地域と連携した農業参入事例

講師 株式会社ポモナファーム 代表取締役CEO 豊永 翔平 氏

(多気町丹生、トマト等生産)



1989年愛知県生まれ。早稲田大学考古学研究室にてカンボジアの遺跡発掘、景観・文化保存の活動に携わる。その際アジア各国で目にした、文化遺産の周りに起こる環境破壊や産業の欠如から起こる若者の都市への一極集中に疑問を覚え、地域の基盤産業を作るべく環境保全と両立する農業の可能性を探る。大学卒業後は経営コンサルティングのベンチャー企業へ入社、その後の農業研修を経て、2016年に農業生産技術ベンチャーのCultivera LLCを設立/起業。2017年には三重県に拠点を移し、地元の万協製菓・丹生営農組合と共にPOMONA FARMを設立して農業参入。

現在は国内外15ヶ所においてパートナーファーム運営に携わりながら、POMONA FARMは2021年春の拡大を目指し、様々なプロジェクトを進行中。

(2) 研修

農業参入するにあたり、農業法人設立の手続きで留意すべき点について

講師 一般社団法人 三重県農業会議 課長 佐野 高之 氏

主催：公益財団法人 三重県農林水産支援センター、三重県

対象：農業参入を検討されている企業の担当者、JA・行政機関等関係団体の職員等

定員：20名(先着順) 参加費：無料

- *応募者多数の場合は、1事業者につき1名に調整させていただくことがあります。
- *検温、手指消毒の実施等、新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。
- *新型コロナウイルス感染症の感染状況により、リモートによる開催に変更又は研修会を中止することもありますのでご了承願います。
- *リモートでの聴講を希望される方はお知らせください。

お申込み用紙

申込期日 令和3年2月3日（水）

下表の内容を、下記お申し込み先へメール、FAX 等でお伝えください
(この内容をお伝えいただければ、様式は問いません)。

参加者名	所属	電話番号	備考

【公益財団法人三重県農林水産支援センター】

〒515-2316 松阪市嬉野川北町 530 担当 小野

TEL. 0598-48-1228 FAX. 0598-42-8221

E-mail. info@aff-shien-mie.or.jp